

平成 29 年度

熊本市エイズ総合対策推進会議

日時 平成 29 年 8 月 10 日 (木)
午後 2 時～4 時

場所 熊本市総合保健福祉センター (ウエルパルクまもと)
1 階 大会議室

平成 29 年度 熊本市エイズ総合対策推進会議 次第

- 1 開会
- 2 局長挨拶
- 3 委員紹介
- 4 会長挨拶
- 5 議事
 - 1) エイズの現状と課題
 - 2) 熊本市エイズ対策事業報告
 - 3) 平成 25～29 年度 HIV 感染および性感染症の予防対策（報告）
 - 4) 平成 30～34 年度 HIV 感染および性感染症の予防対策（計画案）
 - 5) 意見交換「各団体の取組みについて」
 - 6) その他
- 6 閉会

資料目次

- | | |
|--|----|
| 1) エイズの現状と課題 | 1 |
| 2) 熊本市エイズ対策事業報告 | 7 |
| 3) 平成 25～29 年度 HIV 感染および性感染症の予防対策（報告） | 13 |
| 4) 平成 30～34 年度 HIV 感染および性感染症の予防対策（計画案） | 15 |
| 5) 意見交換「各団体の取組みについて」 | 17 |
| ■ 情報「エイズ動向委員会報告 2017 年 3 月」から抜粋 | 18 |

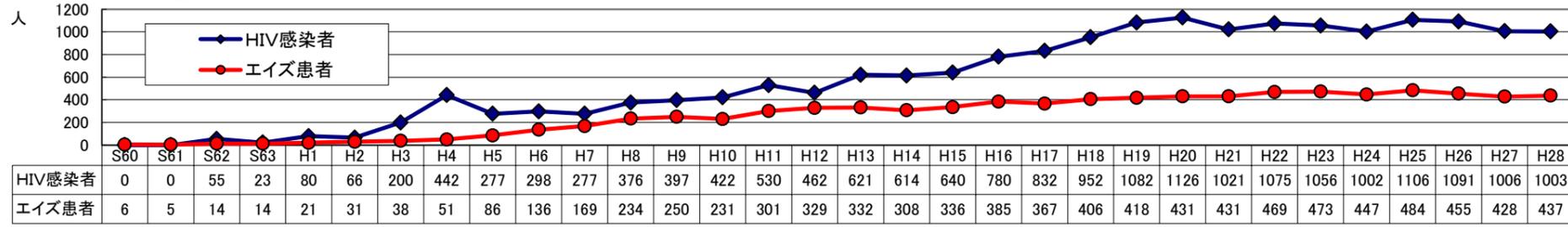
1) エイズの現状と課題

■エイズの現状と課題について

熊本大学 エイズ学研究センター
センター長 兼
松下プロジェクト研究室 教授 松下 修三 氏

■全国のHIV感染者・エイズ患者報告数推移

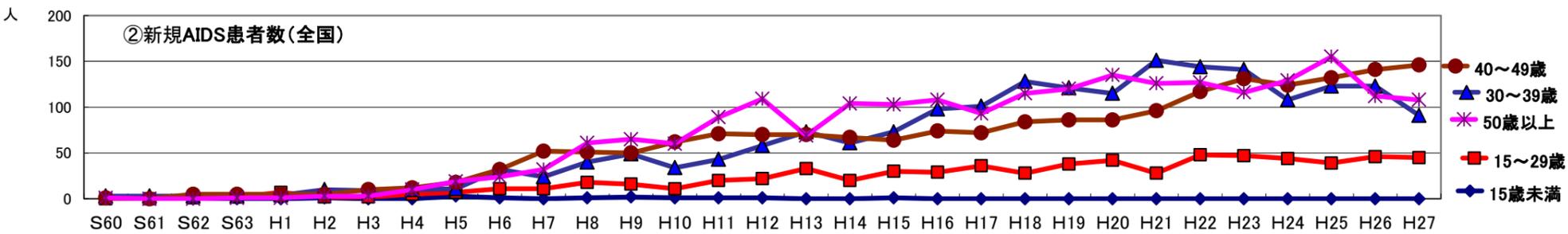
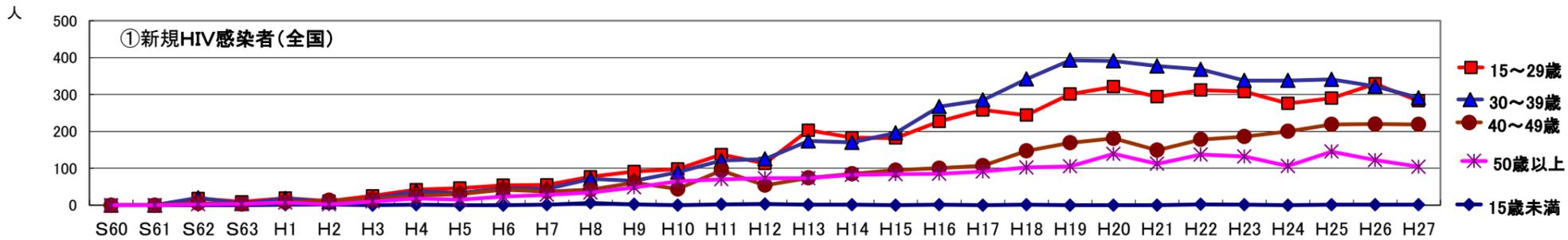
1. 年次推移(全国)



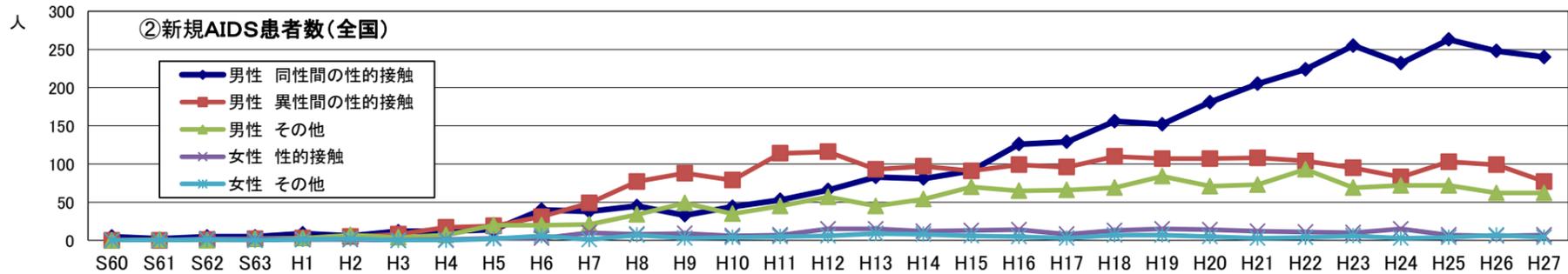
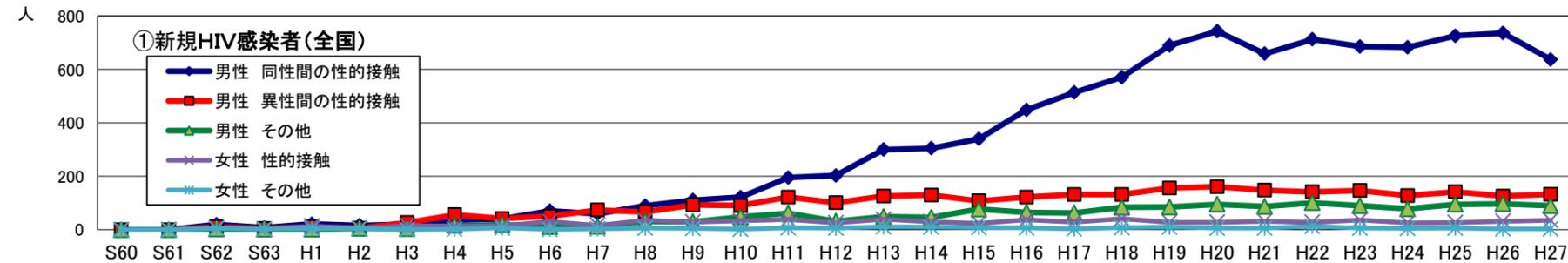
累計
18,308
9,062
感染者患者累計
27,370

※H28:速報値

2. 年齢階級別推移(日本国籍のみ)

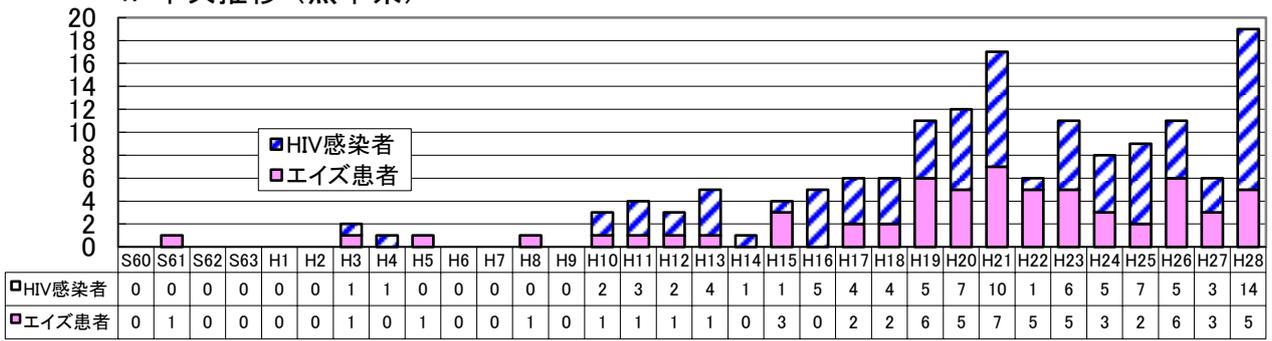


3. 感染経路別推移(日本国籍のみ) ※同性間は両性間を含む。その他は不明を含む。



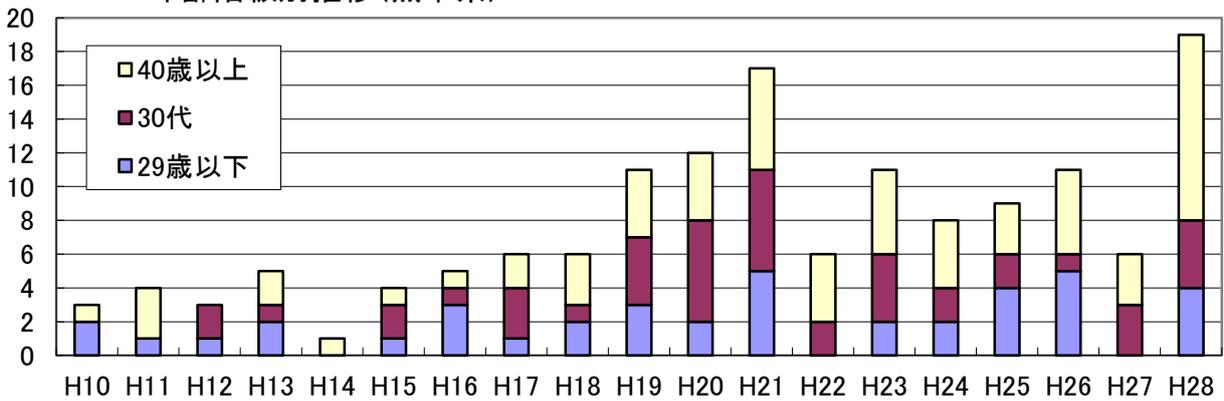
■熊本県のHIV感染者・エイズ患者報告数推移

4. 年次推移（熊本県）

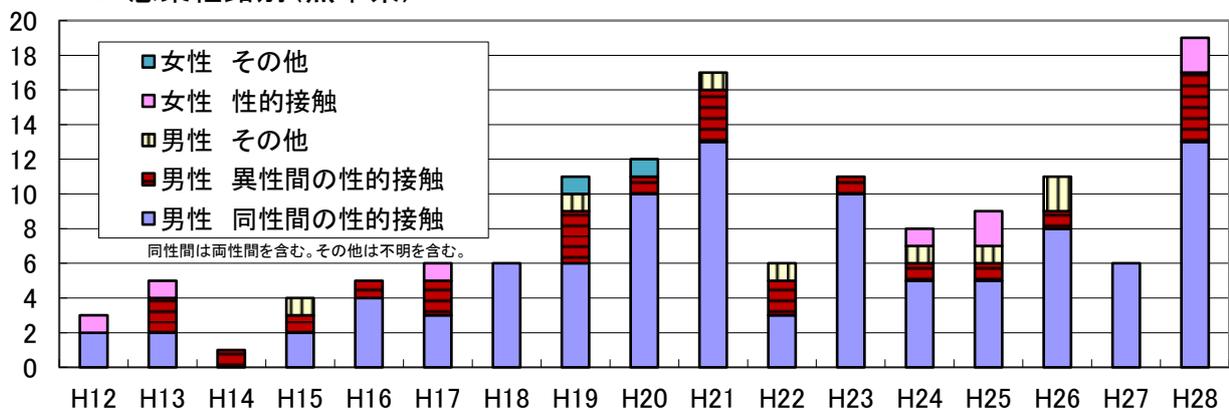


感染者累計 91
 患者累計 62
 感染者患者累計 153

5. 年齢階級別推移（熊本県）

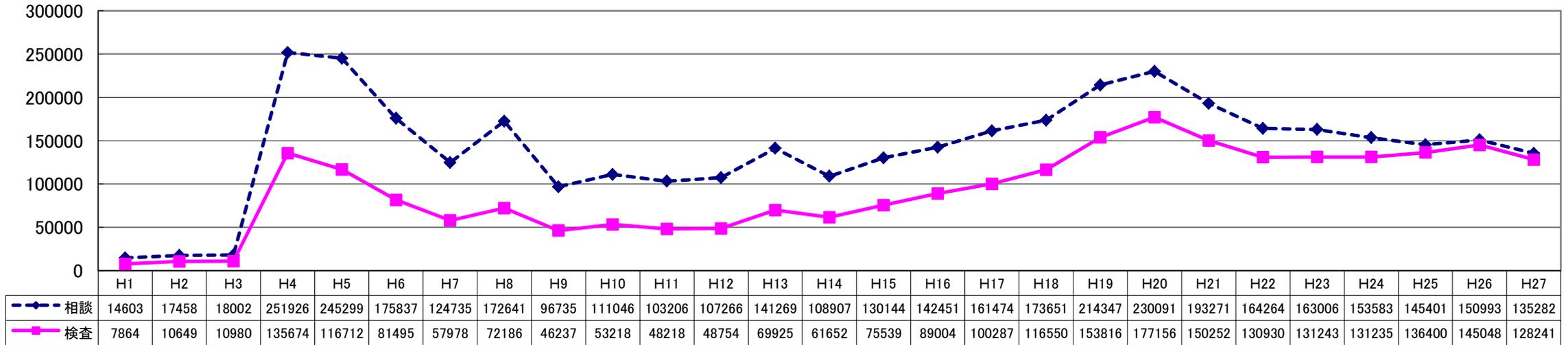


6. 感染経路別（熊本県）



■エイズ相談・検査数推移

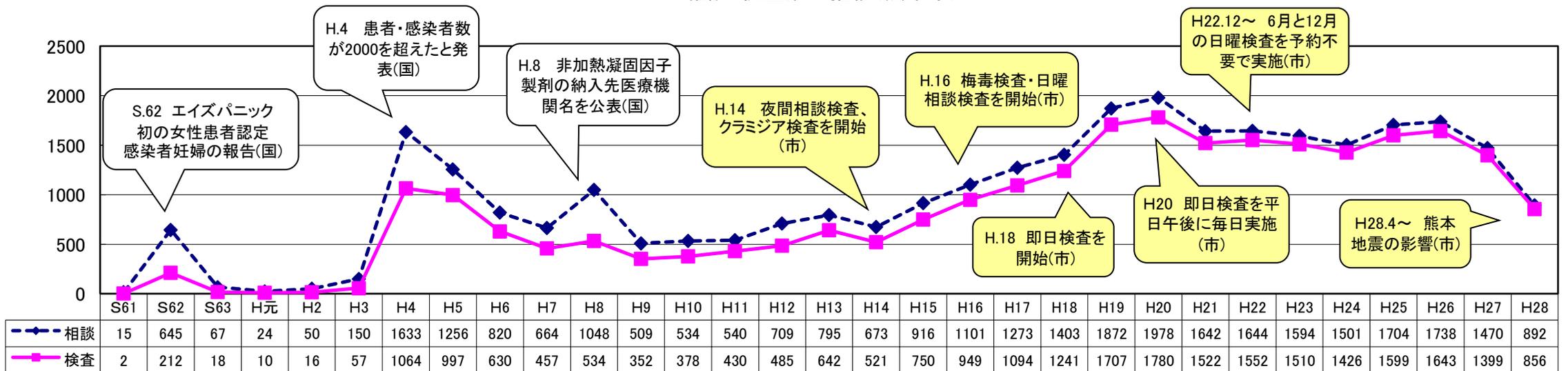
7. 保健所などにおけるエイズ相談・検査件数(全国)



出典 7 : 厚生労働省エイズ動向委員会によるエイズ発生動向年報及びエイズ動向委員会報告

- 4 -

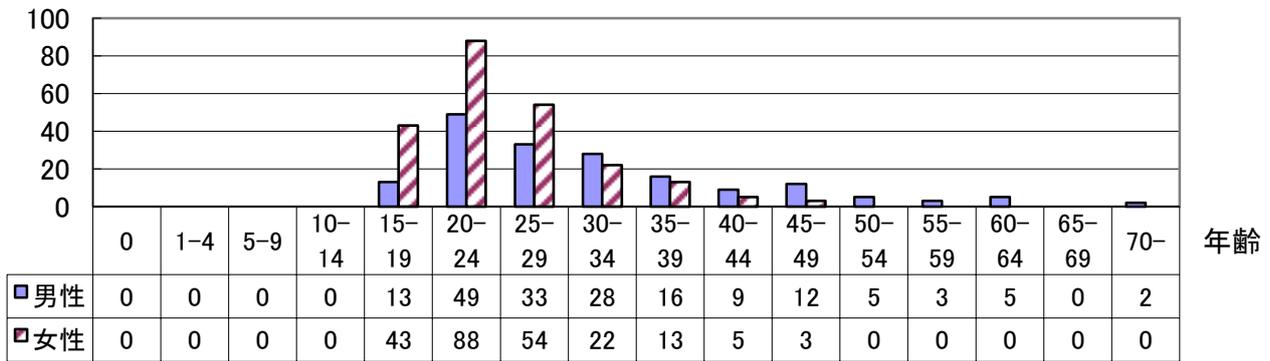
8. エイズ相談・検査数の推移(熊本市)



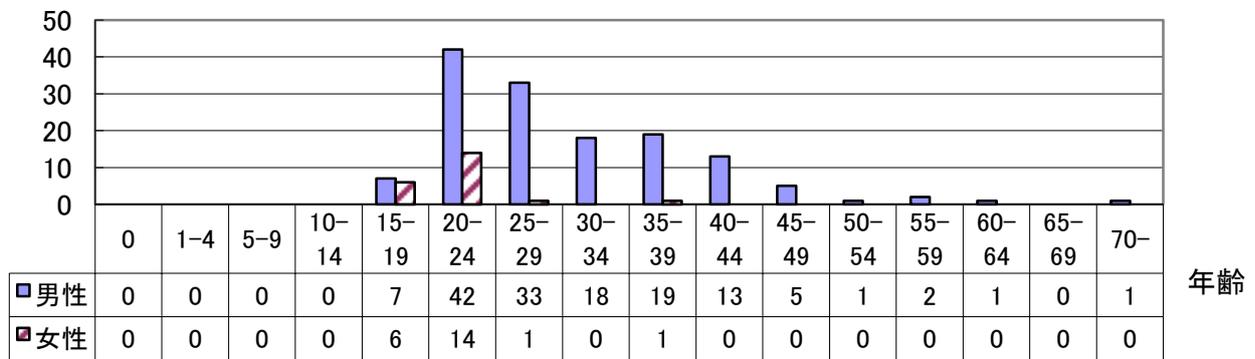
■ 性感染症の発生動向

※定点把握：STD定点医療機関から月1回の報告により発生状況を把握
(平成25年1月から熊本市のSTD定点数が5から6に増加)

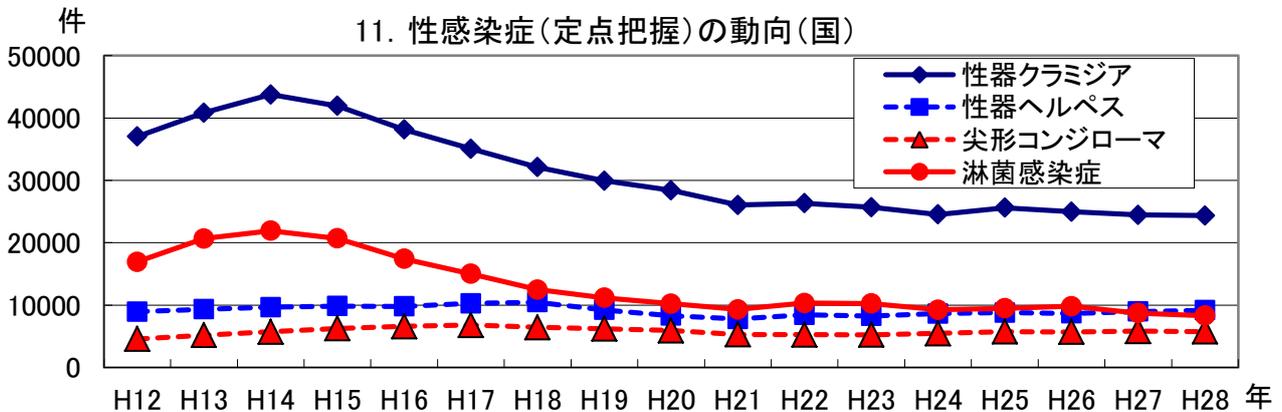
9. 平成28年 性器クラミジア感染症 定点医療機関報告数(熊本市)



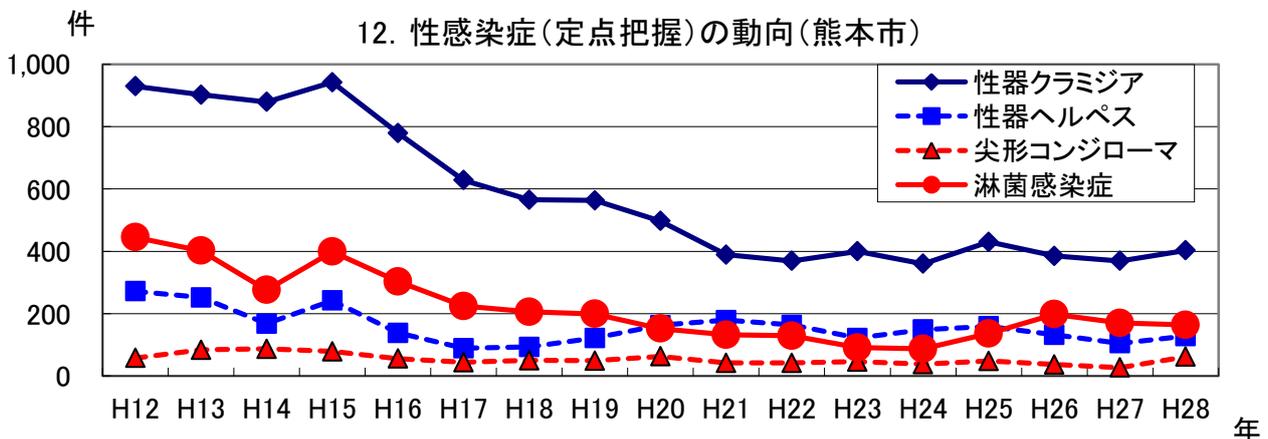
10. 平成28年 淋菌感染症 定点医療機関報告数(熊本市)



11. 性感染症(定点把握)の動向(国)

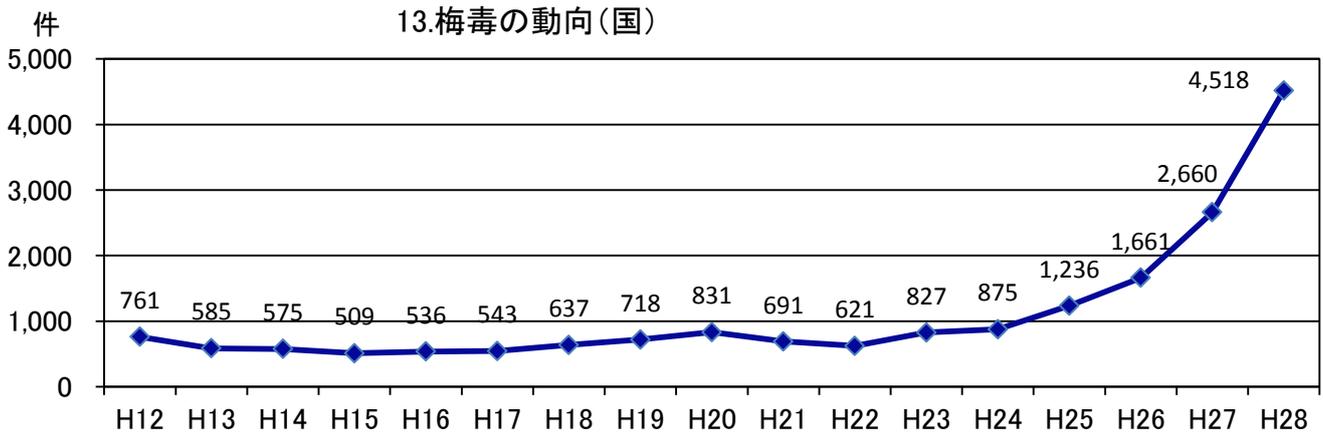


12. 性感染症(定点把握)の動向(熊本市)



■梅毒の動向

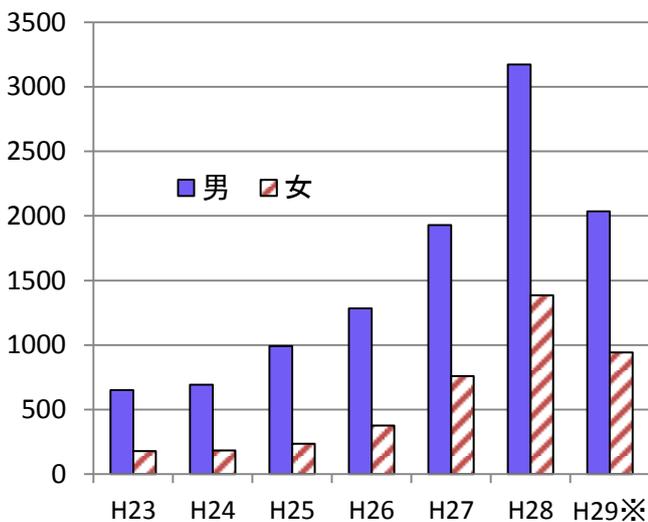
※全数把握：診断した医師からの7日以内の届出により全数を把握



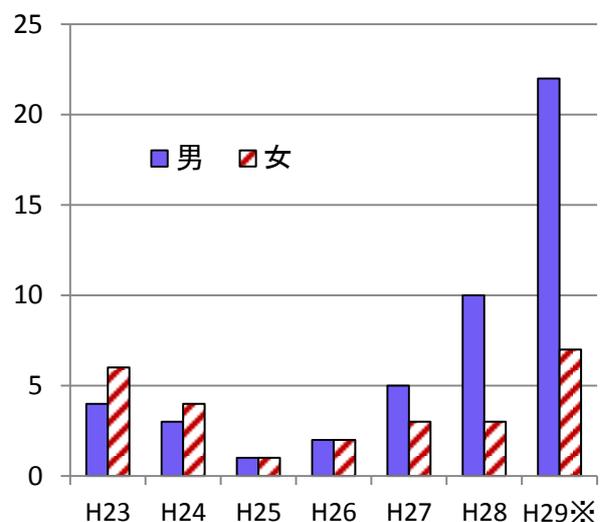
出典 13、15:感染症発生動向調査事業



15.梅毒の動向(男女別・国)



16.梅毒の動向(男女別・熊本市)



※H29は、H29.7.26までの報告数

2) 熊本市エイズ対策事業報告

(H29年度 熊本市エイズ及び性感染症対策事業 H29年8月)

1 正しい知識の普及啓発

施策層	平成 28 年度報告	平成 29 年度計画
青少年	<p>【教育関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高校・専門学校への講師派遣事業 <ul style="list-style-type: none"> ・周知 4 月、8 月 ・泌尿器科医、産婦人科医等の専門医を派遣 ・9 回実施 2,796 人 (高校 5 校、専門 3 校、他 1 校) ●出前講座 (性感染症予防講座) <ul style="list-style-type: none"> ・周知 4 月、8 月 ・12 回実施 1,709 人(中学 12 校) ・出前講座事前・事後アンケートによる講話内容理解度の把握 <p>【啓発活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高校文化祭・大学学園祭でのキャンペーン <ul style="list-style-type: none"> ・1 高校 1 日間 (必由館) ※大学学園祭でのキャンペーンは中止 ●アンケート調査による若者の実態把握 (高校でのキャンペーン時) 90 人 ●ピアエデュケーターとの協働 熊本大学医学部保健学科、教育学部養護教諭養成過程学生 6 人 ●高校・専門学校等巡回パネル展 「H I V × (日常) × わたし。」※¹ ・高校 1 校 (必由館) ●大学での健康診断会場での啓発キャンペーン ※地震のため中止 (4/27, 28 予定分) <p>【啓発物作成・配布】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●中学生向けオリジナルパンフレット 改訂・配布 11 校 1,815 部 ●啓発物配布 (キャンペーン時など) ●パンフレット提供 (購入分) (各団体、学校、事業者等) ●教育用 DVD 貸出し 4 ヶ所 7 回 (中学校、児童相談所) 	<p>【教育関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高校・専門学校への講師派遣事業 <ul style="list-style-type: none"> ・周知 4 月、9 月 ・泌尿器科医、産婦人科医等の専門医を派遣 (高校、専門学校) ●出前講座 (性感染症予防講座) <ul style="list-style-type: none"> ・周知 4 月、9 月 ・出前講座事前・事後アンケートによる講話内容理解度の把握 <p>【啓発活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高校文化祭・大学学園祭でのキャンペーン <ul style="list-style-type: none"> ・1 高校 1 日間予定 (必由館) ※大学学園祭でのキャンペーンは検討中 ●アンケート調査による若者の実態把握 (高校、大学でのキャンペーン時) ●ピアエデュケーターとの協働 熊本大学医学部保健学科、教育学部養護教諭養成過程、養護教諭特別別科等 ●高校・専門学校等巡回パネル展 「H I V × (日常) × わたし。」※¹ <p>【啓発物作成・配布】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●中学生向けオリジナルパンフレット 改訂・配布 ●啓発パンフレット・コンドームを中学・高校 (養護教諭) へ提供 ●啓発物配布 (キャンペーン時など) ●パンフレット提供 (購入分) (各団体、学校、事業者等) ●教育用 DVD 貸出し
M S M (男性 間で性 行為を 行う者 をいう。 以下同)	<p>【熊本のゲイ当事者サークル「Safety Blanket」※²との協働】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●連絡会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・拡大会 (9 月: 関係者による活動状況についての意見交換) Safety Blanket、LOVE Act Fukuoka、熊本大学医学部附属病院エイズ診療従事者等、熊本県、熊本市 	<p>【熊本のゲイ当事者サークル「Safety Blanket」※²との協働】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●連絡会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・拡大会 (関係者による活動状況についての意見交換) Safety Blanket、LOVE Act Fukuoka、熊本大学医学部附属病院エイズ診療従事者、熊本県、熊本市

じ。)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当者会議（1 回実施：具体的な活動案について意見交換）：Safety Blanket、熊本大学附属病院エイズ診療従事者、熊本市 ・ メール等による情報交換、打ち合わせ（随時） ● MSM 対象茶話会の実施 1 回 9 名 ● 啓発物のゲイコミュニティでの配布 ● ホームページへのリンク 本市エイズ検査相談のページに Safety Blanket のホームページをリンク 【その他】 ● 相談室へのパンフレット陳列、配布 ● セクシュアリティに配慮した啓発活動・情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当者会議（具体的な活動案について意見交換）：Safety Blanket、熊本大学附属病院エイズ診療従事者、熊本市 ・ メール等による情報交換（随時） ● MSM 対象茶話会の実施（場所提供） ● MSM 対象勉強会の実施 ● 啓発物作製 ● 啓発物のゲイコミュニティでの配布 ● ホームページへのリンク 本市エイズ検査相談のページに Safety Blanket のホームページをリンク 【その他】 ● 相談室へのパンフレット陳列、配布 ● セクシュアリティに配慮した啓発活動・情報収集
外国人	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国語パンフレット陳列、配布 ● 市ホームページ（英語版） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国語パンフレット陳列、配布 ● 市ホームページ（英語版）
性風俗産業従事者利用者	<ul style="list-style-type: none"> ● 検査相談利用時に個別に情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● 検査相談利用時に個別に情報提供 ● 店舗型性風俗特殊営業所の責任者へ保健所窓口でパンフレット等を配布
薬物乱用者	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報収集
一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 【マスコミ】 ● 広報：ラジオ 6 回実施 ● 市政だより：12 月、3 月 【啓発物配布】 ● エイズ予防啓発ポスター <ul style="list-style-type: none"> ・ エイズデー啓発ポスターによる啓発 1 回 ・ 性感染症予防ポスター、チラシ、コンドーム配布 ● ウェルパルクまもと 1 階ロビーに啓発パンフレットを配置（常時） ● 保健所、区役所でのパンフレット・啓発物配布 ● エイズ検査広報カード作成・配布 【イベント】 ● 街頭キャンペーン 2 回 3 日間（健康づくり推進課主催の健康づくりキャンペーンの一環として実施） ・ 11/20（日）市内自動車学校のイベントにて大学生ボランティア（くまびあ）によるステージ及び啓発物配布、ピアエデュケーション活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 【マスコミ】 ● 広報：ラジオ ● 市政だより：6 月、12 月 【啓発物配布】 ● エイズ予防啓発ポスター <ul style="list-style-type: none"> ・ HIV 検査普及週間・エイズデー啓発ポスターによる啓発 ・ 本市作製ポスターの送付 ● 医療機関へパンフレットの送付 ● 梅毒啓発チラシ作成・配布 ● ウェルパルクまもと 1 階ロビーに啓発パンフレットを配置（常時） ● 保健所、区役所でのパンフレット・啓発物配布 ● エイズ検査広報カード作成・配布 【イベント】 ● 街頭キャンペーン

<p>・11/26（土）、27（日）新市街で行われたイベント（まちなかコレクション）にて、職員がパンフレット等の配布 100部</p> <p>●巡回パネル展「H I V ×（日常）×わたし。」※1</p> <p>・市主催のエイズ啓発イベント等で展示 * ウェルパルクまもと玄関ホール（11～12月） * エイズ相談室周辺（常設展示） ・水俣保健所へ貸し出し（11月）</p> <p>【ホームページ】</p> <p>●熊本市ホームページを利用した情報発信、ホームページ内容の改善・随時更新</p> <p>●アクセス数（件） 「熊本市エイズ検査相談※4」 28年 13,708（月あたり約1,142件） 「メール予約について」 28年 4,406（月あたり約367件）</p> <p>【出前講座等】</p> <p>●出前講座（働く世代） ・事業所、自治会：4回 198人</p> <p>●JICA九州研修（対象者：アフリカ諸国等のエイズ予防及び対策を担当する行政組織の行政官7名）の講師及び中間報告会への参加 2回</p>	<p>●巡回パネル展「H I V ×（日常）×わたし。」※1</p> <p>・市主催のエイズ啓発イベント等で展示 * ウェルパルクまもと玄関ホール * エイズ相談室周辺（常設展示）</p> <p>【ホームページ】</p> <p>●熊本市ホームページを利用した情報発信、ホームページ内容の改善・随時更新</p> <p>【出前講座等】</p> <p>●出前講座（働く世代）</p>
---	--

※1 パネル展「H I V ×（日常）×わたし。」：熊本の学生、社会人、医療関係者等に行ったエイズに関するインタビューの内容と写真をパネルにしたもの。26年度の街頭キャンペーンにあわせて作製した。27年度以降は高校、専門学校、その他一般施設等で巡回展示を行う。

※2 Safety Blanket（旧称「KK」平成28年2月に改名）：平成25年12月に結成された熊本のゲイ当事者によるサークル。20～30代の学生、社会人で構成。26年9月から熊本市と協働してエイズ啓発活動等を行っている。

※3 Safe LOVE Kumamoto (SaLK)：熊本市の若者によるエイズ啓発ボランティアグループ。熊本大学の学生や社会人、約20人で構成。熊本市と協働し、街頭キャンペーンや啓発物の作製等を行っている。

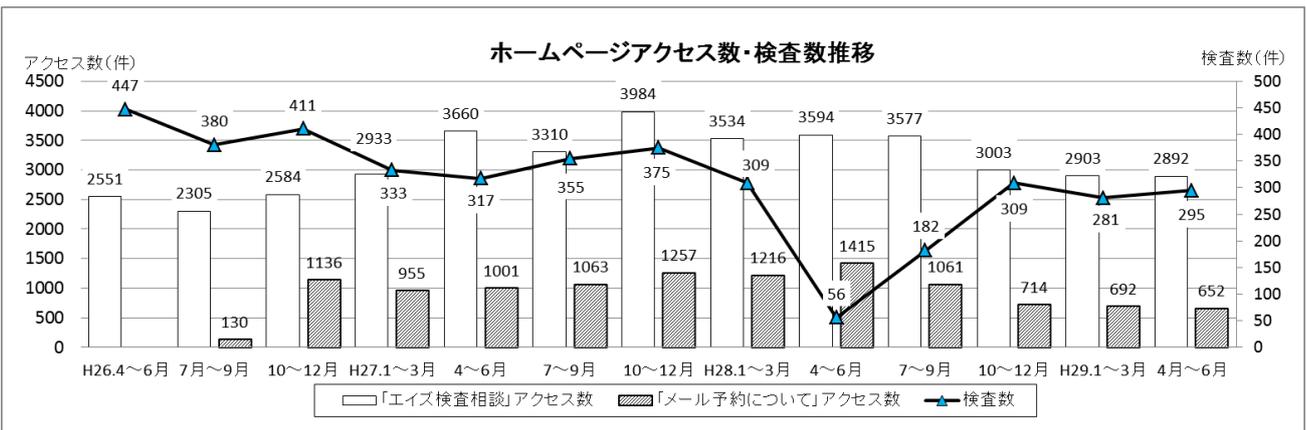
※4 熊本市ホームページ内「エイズ検査のお知らせ」（スマートフォン対応）

http://www.city.kumamoto.jp/hpKiji/pub/detail.aspx?c_id=5&iid=3355&class_set_id=2&class_id=1975

（スマートフォン用QRコード⇒）



【参考】ホームページアクセス数・検査数推移



2 相談検査体制の充実

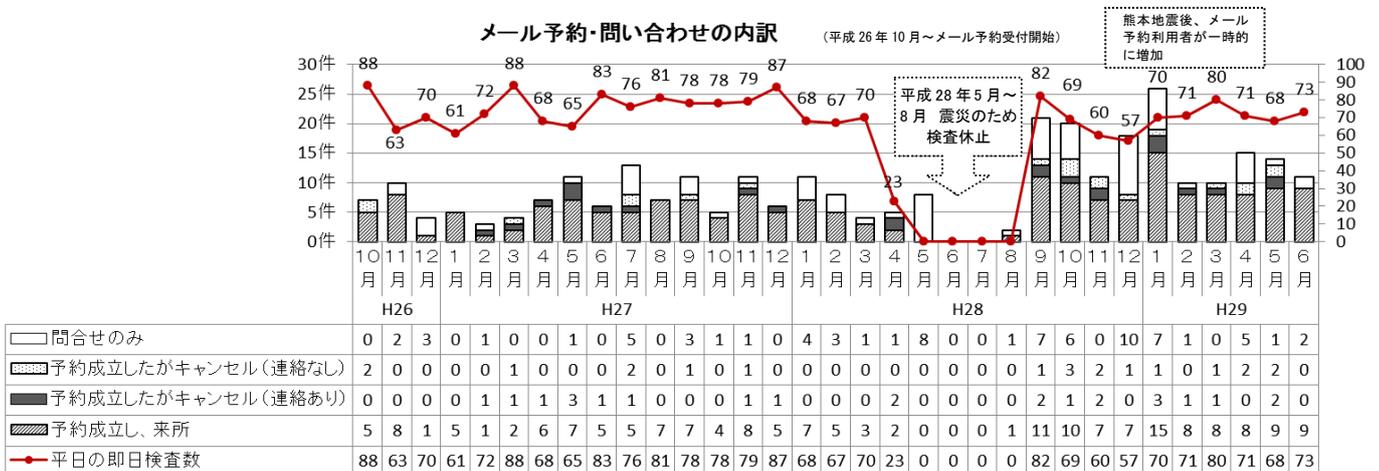
	平成 28 年度報告	平成 29 年度報告
窓口の 拡大	<p>●エイズ検査相談体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常検査（予約不要） 月～金曜日 9：00～11：00 13：00～16：30 ・即日検査（予約制） 月～金曜日 13：00～15：00 〔夜間〕第2・4火曜日 17：30～19：30 〔休日〕第2日曜日 13：00～15：00 <p>※ただし、熊本地震（4/14,16）の影響により、4/15以降、変則実施。 ※随時、熊本市ホームページにてお知らせ</p> <p>■4/15～8/31 エイズ検査休止 期間中、臨時検査として通常検査3回、夜間即日検査1回実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常検査（予約不要）9：00～11：00 6/13（月）14人 7/13（水）19人 8/10（水）36人 ・夜間即日検査（予約制） 17：30～19：00 8/23（火）4人 <p>■9月～ 全検査相談を予約制で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常検査（予約制） 月～金曜日 9：00～11：00 ・即日検査（予約制） 月～金曜日 13：00～15：00 （夜間）第2・4火曜日 17：30～19：30 （休日）第2日曜日 13：00～15：00 <p>■1月～3月 夜間・休日検査を休止 （平日昼間のみ実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常検査（予約制） 月～金曜日 9：00～11：00 ・即日検査（予約制） 月～金曜日 13：00～15：00 <p>●28年実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・即日検査【28年実績（件）】 相談数 892 検査数 856 クラミジア抗体検査 754、梅毒検査 780 <p>夜間（再掲）相談 56 検査 56 結果 1 日曜（再掲）相談 76 検査 76 結果 0 即日（再掲）相談 628 検査 628</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特例検査 12月、3月の日曜検査を予約不要で実施 	<p>●エイズ検査相談体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常検査（予約制） 月～金曜日 9：00～11：00 ・即日検査（予約制） 月～金曜日 13：00～15：00 〔夜間〕年2回実施予定 9月、3月に実施予定（日時、体制未定） 〔休日〕年2回実施予定 予約不要の即日検査を6月実施、12月実施予定（待合室共同） ○6/11（日）13：00～14：00 ・相談 52人 検査 51人 ○12/10（日）13：00～14：00

	<p>○12/11 (日) 13:00~14:00 ・相談 検査 42人</p> <p>○3/12 (日) 13:00~14:00 ・相談 検査 22人</p> <p>・メール予約受付 平日午後(13:00~15:00)の即日検査を対象に、メールでの予約を受け付けた。 【28年実績(件)】 ・問合せ数 108 (再掲) 予約成立数 67、受検数 53</p> <p>・受検者アンケートの実施 通常・即日・特例検査時に任意でアンケートを実施</p>	<p>・メール予約受付 平日午後(13:00~15:00)の即日検査を対象に、メールでの予約を受け付ける。</p> <p>・受検者アンケートの実施 通常・即日・特例検査時に任意でアンケートを実施</p>
<p>相談業務の充実</p>	<p>【研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「平成28年度エイズ対策研修」国立保健医療科学院 7/26~29(4日間) 1名 ●「九州ブロックエイズ拠点病院研修会」国立病院機構九州医療センター 10/7(1日間) 1名 ●「HIV検査相談研修会(大阪)」エイズ予防財団 10/27、28(2日間) 1名 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●相談室及び周辺等に掲示板を設置、内容を改善・随時更新 	<p>【研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「平成29年度エイズ検査・相談カウンセリング研修会」熊本県 8/21 3名 ●「HIV検査相談研修会(東京)」エイズ予防財団 8/24、25(2日間) 1名 ●「HIV検査相談研修会(大阪)」エイズ予防財団 10月予定(2日間) 1名 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●相談室及び周辺等に掲示板を設置、内容を改善・随時更新 <ul style="list-style-type: none"> ・熊本のLGBT支援団体等の紹介パネルやパンフレットを設置

○HIV検査普及週間 6/1~7

○世界エイズデー 12/1

【参考】メール予約・問合せ数推移



3 医療体制および生活支援体制

	平成 28 年度報告	平成 29 年度計画
医療体制	<ul style="list-style-type: none"> ●検査陽性時、拠点病院の受診に同伴（希望時） ●感染者・医療担当者との情報交換 <ul style="list-style-type: none"> ・9/1「H I V 感染予防と早期発見、早期治療に関する打ち合わせ会 2016（熊大病院）」参加・意見交換 2人 ・随時、担当者間で情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> ●検査陽性時、拠点病院の受診に同伴（希望時） ●感染者・医療担当者との情報交換 <ul style="list-style-type: none"> ・4/27「H I V 感染予防と早期発見、早期治療に関する打ち合わせ会 2017（熊大病院）」参加・熊本市の取組み紹介・意見交換 3人 ・随時、担当者間で情報交換
生活支援体制・福祉制度	<ul style="list-style-type: none"> ●必要時にH I Vに対する正しい知識を提供する <ul style="list-style-type: none"> ・施設等での患者受け入れや対応についての相談、主管課と連携した対応 2件 ※福祉制度：身体障害者手帳、更生医療による医療費助成・福祉サービス（申請窓口：障がい保健福祉課） 	<ul style="list-style-type: none"> ●必要時にH I Vに対する正しい知識を提供する ※福祉制度：身体障害者手帳、更生医療による医療費助成・福祉サービス（申請窓口：障がい保健福祉課）

4 推進体制の整備

	平成 28 年度報告	平成 29 年度計画
熊本市エイズ総合対策推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ●2月に開催 ※熊本地震の影響により、8月開催を2月開催に延期 ●エイズ対策の目標値（指標）の実動計画、実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●8月に開催 ●3月に報告書作成 ●エイズ対策の目標値（指標）の実動計画、実施
NGOとのパートナーシップ推進	<ul style="list-style-type: none"> ●情報交換等（研修会など） 	<ul style="list-style-type: none"> ●情報交換等（研修会など）

3) 平成 25～29 年度 HIV 感染および性感染症の予防対策

(平成 29 年 6 月末現在)

指標及び目標値

① HIV 抗体検査数の増加

平成 29 年の検査数 1,780 件 (過去最多の平成 20 年の件数)
 (現状) 平成 24 年 : 1,426 件 ⇒ (目標) 平成 29 年 : 1,780 件

② 性器クラミジア感染症報告数の減少

平成 29 年の報告数 324 件 (平成 24 年報告数の 10%減)
 (現状) 平成 24 年 : 360 件 ⇒ (目標) 平成 29 年 : 324 件

① HIV 抗体検査数の増加

【施策 (実施内容)】

● 相談検査体制の充実

- ・ 予約不要の休日検査 (特例検査) を年 2 回 (6 月、12 月) の定例化で実施
- ・ プライバシーに配慮した体制、相談員研修の充実
- ・ メールによる予約受付

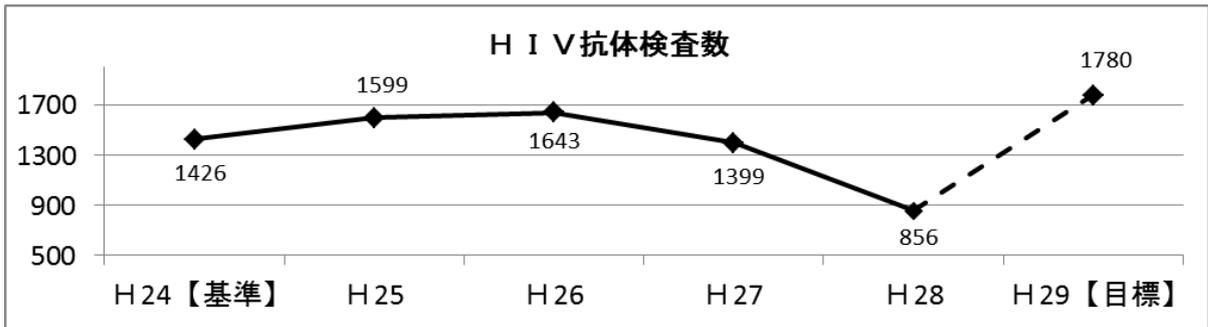
● 検査に関する広報の充実

- ・ ホームページ改善、ポスター、ステッカー、検査啓発カード等の作成・配布
- ・ 高校・専門学校への講師派遣時に感染症対策課職員が熊本での現状と検査について講話
- ・ 街頭キャンペーンでのアピール

【実績】平成 26 年まで増加傾向に転じていたが、27 年には減少、28 年は 4 月に熊本地震が発生した影響で検査数が半減した。(平成 28 年 4 月 15 日～8 月 31 日まで検査休止、臨時検査 4 回実施。9 月以降受入数を制限しながら継続。)

	H24(基準)	H25	H26	H27	H28	H29(6月末)
HIV 抗体検査数 (件)	1,426	1,599	1,643	1,399	856	576
(再掲) 通常検査 (件)	335	399	414	283	228	70
(再掲) 即日検査 (件) (検査数に占める即日検査の割合)	1,091 (76.5%)	1200 (75.0%)	1229 (74.8%)	1116 (79.8%)	628 (73.4%)	506 (87.8%)
エイズ相談数 (件)	1,501	1,704	1,738	1,470	892	596

※H29 は 1 月～6 月の件数



【評価・今後の方針】 平成28年は熊本地震の影響で検査数が減少しているが、新規感染者・患者の報告数が増加しており、これまでの啓発等の効果が出ているものと評価できる。今後は、検査数の増加だけでなく、リスクグループ（青少年、MSM等）の利用をいかに増やしていくかに焦点を当てた取組みを行っていく必要がある。

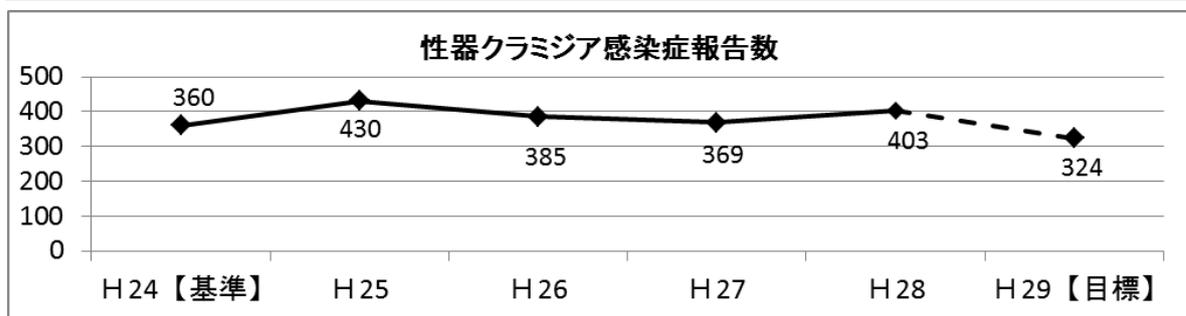
②性器クラミジア感染症報告数の減少

【施策（実施内容）】

- 性感染症予防教育の実施：中学3年生、高校生等への出前講座、高校への講師派遣事業、保護者や企業等への研修会等のアプローチ
- 高校・専門学校への講師派遣時に感染症対策課職員が熊本での現状と検査について講話
- 高校文化祭、大学学園祭で、大学生ボランティアによるピアエデュケーション（仲間教育）を実施

【実績】平成25年以降減少傾向から横ばいであったが、28年は基準より43件多かった。

年	H24(基準)	H25	H26	H27	H28	H29(6月末)
性器クラミジア感染症報告数(件)	360	430	385	369	403	197



※H29は1月～6月の報告数

【評価・今後の方針】 性器クラミジア以外の性感染症も含め、今後も若年者への啓発・教育を継続して行い、予防や早期発見・早期治療につなげていく必要がある。

4) 平成 30～34 年度 HIV 感染および性感染症の予防対策（計画案）

目的 HIV 及び性感染症の新規感染を減少させる

成果指標及び目標値

1	HIV 抗体検査数の増加	平成 34 年の検査数	1,780 件
2	性器クラミジア感染症報告数の減少	平成 34 年の報告数	324 件
3	梅毒報告数の減少（新規）	平成 34 年の報告数	10 件

1, 2については、前5年間から引続き、成果指標とする。

3については、市内の報告数が急増していることから、今回新しく成果指標とする。

取組み方針

- ①普及啓発：広く市民に対し、知識と意識の向上を図り、検査体制の周知を行う。
- ②検査体制の整備：市民にとって利便性の高い検査体制を構築する。また、特に感染リスクが高いと考えられる層（青少年、MSM、性風俗従事者・利用者等）が利用しやすい体制とする。

施策（実施内容）

①正しい知識の普及啓発

〔一般〕

- ・ホームページ、ラジオ、市政だより等での広報
- ・働く世代への出前講座の実施
- ・街頭キャンペーンの実施
- ・啓発物の配布（ポスター、チラシ、パンフレットなど）
- ・一般の医療機関への情報提供を強化

〔青少年〕

- ・出前講座、講師派遣事業の実施
- ・大学生ボランティア等との協働により、高校・大学で啓発キャンペーンを実施
- ・青少年向け啓発物の作成・配布

〔MSM〕

- ・MSM当事者グループとの連絡会、勉強会等の実施
- ・ゲイバー等への啓発物の配布
- ・MSM当事者に配慮した情報の発信方法の検討、実施

〔性風俗従事者・利用者〕

- ・ 情報収集、検査利用者への情報提供
- ・ 店舗型性風俗特殊営業所の責任者等へパンフレット配布、検査の情報提供

②検査相談体制の整備

- ・ 平日昼間の即日検査、通常検査を継続実施
- ・ 日曜検査、夜間検査体制のより効果的な見直し
- ・ 予約不要の即日検査の実施
- ・ メール予約受付体制の見直し

5) 意見交換

■各団体の取組みについて

■ 情報 「厚生労働省エイズ動向委員会報告 2017 年 3 月」から

○委員長コメント

○表 2 平成 28 年 12 月 25 日現在の HIV 感染者及びエイズ患者の
国籍別、性別、感染経路別報告数の累計

○表 3 HIV 感染者及びエイズ患者の都道府県別累計報告状況

第 148 回エイズ動向委員会

委員長コメント

《平成 28 年第 4 四半期》

【概要】

1. 今回の報告期間は平成 28 年 9 月 26 日～平成 28 年 12 月 25 日までの約 3 か月
2. 新規 HIV 感染者報告数は 253 件 (前回報告 261 件、前年同時期 266 件)
そのうち男性 240 件、女性 13 件で、男性は前回 (255 件) 及び前年同時期 (253 件) より減少、女性は前回 (6 件) より増加し、前年同時期 (13 件) と同数
3. 新規 AIDS 患者報告数は 110 件 (前回報告 113 件、前年同時期 102 件)
そのうち男性 107 件、女性 3 件で、男性は前回 (109 件) より減少し、前年同時期 (98 件) より増加、女性は前回 (4 件) 及び前年同時期 (4 件) より減少
4. HIV 感染者と AIDS 患者を合わせた新規報告数は 363 件

【感染経路・年齢等の動向】

1. 新規 HIV 感染者：
 - 同性間性的接触によるものが 186 件 (新規 HIV 感染者報告数の約 74%)
 - 異性間性的接触によるものが 34 件 (新規 HIV 感染者報告数の約 13%)
そのうち男性 27 件、女性 7 件
 - 静注薬物によるものは 0 件
 - 母子感染によるものは 0 件
 - 年齢別では、20～30 代が多い。
2. 新規 AIDS 患者：
 - 同性間性的接触によるものが 67 件 (新規 AIDS 患者報告数の約 61%)
 - 異性間性的接触によるものが 30 件 (新規 AIDS 患者報告数の約 27%)
そのうち男性 28 件、女性 2 件
 - 静注薬物によるものは 0 件
 - 母子感染によるものは 0 件
 - 年齢別では、30～40 代が多い。

【検査・相談件数の概況 (平成 28 年 10 月～12 月)】

1. 保健所における HIV 抗体検査件数 (速報値) は 24,253 件
(前回報告速報値 20,635 件、前年同時期確定値 26,783 件)
自治体が実施する保健所以外の検査件数 (速報値) は 8,010 件
(前回報告速報値 6,965 件、前年同時期確定値 8,457 件)
2. 保健所等における相談件数 (速報値) は 31,087 件
(前回報告速報値 28,204 件、前年同時期確定値 35,235 件)

【献血の概況 (平成 28 年 1 月～12 月)】

1. 献血件数 (速報値) は、4,841,600 件 (前年同時期 4,909,156 件)
2. そのうち HIV 抗体・核酸増幅検査陽性件数 (速報値) は 48 件 (前年同時期 53 件)
10 万件当たりの陽性件数 (速報値) は、0.991 件 (前年同時期 1.080 件)

《まとめ》

1. 新規H I V感染者報告数は前回及び前年同時期より減少していた。また、新規A I D S患者報告数は前回よりやや減少し、前年同時期より増加していた。
2. 新規H I V感染者は20～30代、新規A I D S患者は30～40代で報告数が多いが、10～80代までの幅広い年齢層において報告が認められた。性別・年齢を問わず、H I Vに感染する可能性がある。適切な予防策により感染を予防することが可能であり、また重要である。
3. 第4四半期は世界エイズデーを含む四半期であり、保健所等におけるH I V抗体検査件数及び相談件数は前回に比して増加した。早期発見は個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつくので、今後も保健所等の無料・匿名H I V抗体検査及び相談を積極的に利用していただきたい。

《平成28年 年間報告（速報値）》

【概要】

1. 今回の報告期間は平成27年12月28日～平成28年12月25日までの約1年（四半期ごと速報値の合計）
2. 新規HIV感染者報告数は1,003件で過去9位
3. 新規AIDS患者報告数は437件で過去6位
4. HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は1,440件で過去9位

【感染経路・年齢等の動向（速報値）】

1. 新規HIV感染者：
 - 同性間性的接触によるものが725件（全HIV感染者報告数の約72%）
 - 異性間性的接触によるものが169件（全HIV感染者報告数の約17%）
 - 静注薬物によるものは1件
 - 母子感染によるものは0件
 - 年齢別では、特に20～30代が多い。
2. 新規AIDS患者：
 - 同性間性的接触によるものが241件（全AIDS患者報告数の約55%）
 - 異性間性的接触によるものが113件（全AIDS患者報告数の約26%）
 - 静注薬物によるものは1件
 - 母子感染によるものは0件
 - 年齢別では、特に30歳以上が多い。なお、50歳以上が約29%を占めている。

【検査・相談件数の概況（平成28年1月～12月）】

1. 保健所等におけるHIV抗体検査件数（速報値）は117,860件で過去11位
2. 保健所等における相談件数（速報値）は118,466件で過去20位

《まとめ》

1. 平成28年は速報値ではあるが、新規HIV感染者報告数が平成27年よりやや減少し、新規AIDS患者報告数は平成27年より増加した。
2. 新規HIV感染者及び新規AIDS患者報告の感染経路としては、性的接触によるものが8割以上で、男性同性間性的接触によるものが多い。HIV感染症は予防が可能な感染症である。HIVに感染していない者においては、適切な予防策をとること、HIVに感染した者においては、まずは自分の感染を知ることが、今後の感染拡大を防ぐために重要となる。国民の皆様には、保健所の無料・匿名での相談や検査の機会を積極的に利用頂きたい。
3. 速報値ではあるが、献血における10万件当たりの陽性者件数は昨年に比して減少した。血液製剤によるHIV感染を防ぐため、献血時の問診には適切に回答して頂きたい。また、HIV感染症が疑われる場合は、国民の皆様には保健所等での無料・匿名検査を積極的に利用頂きたい。
4. 新規HIV感染者・AIDS患者報告数に占めるAIDS患者報告数の割合は、約3割のまま推移している。早期発見は個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつく。自治体におかれては、エイズ予防指針を踏まえ、引き続き利便性に配慮した検査相談体制を推進していただきたい。

感染症法に基づくHIV感染者・エイズ患者情報

平成28年12月25日現在のHIV感染者及びエイズ患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計

診断区分	感染経路	日本国籍			外国国籍			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
HIV感染者	合計	14,840	939	15,779	1,629	1,443	3,072	16,469	2,382	18,851
	異性間の性的接触	2,903	768	3,671	440	847	1,287	3,343	1,615	4,958
	同性間の性的接触 ^{*1}	10,391	4	10,395	667	1	668	11,058	5	11,063
	静注薬物使用	41	2	43	27	3	30	68	5	73
	母子感染	18	9	27	5	8	13	23	17	40
	その他 ^{*2}	292	39	331	61	27	88	353	66	419
	不明	1,195	117	1,312	429	557	986	1,624	674	2,298
エイズ患者	合計^{*3}	6,815	377	7,192	903	398	1,301	7,718	775	8,493
	異性間の性的接触	2,158	251	2,409	302	219	521	2,460	470	2,930
	同性間の性的接触 ^{*1}	3,269	3	3,272	172	2	174	3,441	5	3,446
	静注薬物使用	28	4	32	26	3	29	54	7	61
	母子感染	9	3	12	1	5	6	10	8	18
	その他 ^{*2}	170	23	193	27	15	42	197	38	235
	不明	1,181	93	1,274	375	154	529	1,556	247	1,803
HIV感染者+エイズ患者	合計	21,655	1,316	22,971	2,532	1,841	4,373	24,187	3,157	27,344
凝固因子製剤による感染者^{*4}		1,421	18	1,439	—	—	—	1,421	18	1,439

*1 両性間性的接触を含む。

*2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

*3 平成11年3月31日までの病状変化によるエイズ患者報告数154件を含む。

*4 「血液凝固異常症全国調査」による2015年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

※死亡者報告数

感染症法施行後の任意報告数(平成11年4月1日～平成28年12月31日)	373名
エイズ予防法 ^{*5} に基づく法定報告数(平成元年2月17日～平成11年3月31日)	596名
凝固因子製剤による感染者の累積死亡者数 ^{*6}	706名

*5 エイズ予防法第5条に基づき、血液凝固因子製剤による感染者を除く。

*6 「血液凝固異常症全国調査」による2015年5月31日現在の報告数

感染症法に基づくHIV感染者・エイズ患者情報
HIV感染者及びエイズ患者の都道府県別累積報告状況

ブロック名	都道府県名	HIV感染者								エイズ患者							
		今回		前回		累 計				今回		前回		累 計			
		報告地	〔居住地〕	報告地	〔居住地〕	報告地	〔居住地〕	報告地	〔居住地〕	報告地	〔居住地〕	報告地	〔居住地〕	報告地	〔居住地〕	報告地	〔居住地〕
北海道	1 北海道	4	[4]	7	[6]	292	1.5%	[175]	[1.9%]	6	[5]	5	[3]	174	2.0%	[88]	[2.1%]
東北	2 青森県	1	[1]	1	[0]	51	0.3%	[20]	[0.2%]	1	[0]	0	[0]	32	0.4%	[13]	[0.3%]
	3 岩手県	0	[0]	0	[0]	30	0.2%	[12]	[0.1%]	0	[0]	0	[0]	32	0.4%	[15]	[0.4%]
	4 宮城県	4	[3]	3	[3]	132	0.7%	[61]	[0.7%]	1	[1]	0	[0]	91	1.1%	[53]	[1.3%]
	5 秋田県	0	[0]	0	[0]	23	0.1%	[8]	[0.1%]	0	[0]	0	[0]	24	0.3%	[11]	[0.3%]
	6 山形県	1	[0]	0	[0]	28	0.2%	[13]	[0.1%]	0	[0]	0	[0]	23	0.3%	[6]	[0.1%]
	7 福島県	3	[2]	3	[3]	75	0.4%	[41]	[0.5%]	2	[2]	0	[0]	50	0.6%	[22]	[0.5%]
	ブロック計	9	[6]	7	[6]	339	1.8%	[155]	[1.7%]	4	[3]	0	[0]	252	3.0%	[120]	[2.8%]
関東・甲信越	8 茨城県	2	[2]	2	[2]	537	2.9%	[135]	[1.5%]	0	[0]	0	[1]	326	3.8%	[89]	[2.1%]
	9 栃木県	0	[0]	0	[0]	246	1.3%	[73]	[0.8%]	0	[0]	3	[2]	199	2.3%	[61]	[1.4%]
	10 群馬県	3	[2]	1	[2]	195	1.0%	[77]	[0.9%]	1	[1]	1	[0]	143	1.7%	[47]	[1.1%]
	11 埼玉県	3	[3]	11	[10]	528	2.8%	[429]	[4.8%]	1	[2]	6	[7]	355	4.2%	[195]	[4.6%]
	12 千葉県	11	[11]	8	[9]	798	4.2%	[395]	[4.4%]	6	[5]	3	[5]	542	6.4%	[217]	[5.1%]
	13 東京都	86	[67]	98	[74]	7,017	37.2%	[2,756]	[30.6%]	13	[12]	30	[26]	2,119	24.9%	[880]	[20.9%]
	14 神奈川県	16	[14]	15	[12]	1,264	6.7%	[634]	[7.0%]	9	[9]	8	[6]	619	7.3%	[259]	[6.1%]
	15 新潟県	0	[0]	0	[0]	92	0.5%	[31]	[0.3%]	0	[0]	1	[0]	60	0.7%	[25]	[0.6%]
	16 山梨県	0	[1]	2	[0]	115	0.6%	[35]	[0.4%]	0	[0]	0	[0]	49	0.6%	[14]	[0.3%]
	17 長野県	0	[0]	2	[2]	305	1.6%	[61]	[0.7%]	1	[2]	2	[2]	200	2.4%	[56]	[1.3%]
ブロック計	121	[100]	139	[111]	11,097	58.9%	[4,626]	[51.3%]	31	[31]	54	[49]	4,612	54.3%	[1,843]	[43.7%]	
北陸	18 富山県	1	[1]	0	[0]	40	0.2%	[19]	[0.2%]	1	[1]	0	[0]	31	0.4%	[13]	[0.3%]
	19 石川県	0	[0]	2	[1]	80	0.4%	[46]	[0.5%]	0	[0]	0	[0]	38	0.4%	[24]	[0.6%]
	20 福井県	0	[0]	0	[0]	48	0.3%	[22]	[0.2%]	0	[0]	0	[0]	34	0.4%	[22]	[0.5%]
ブロック計	1	[1]	2	[1]	168	0.9%	[87]	[1.0%]	1	[1]	0	[0]	103	1.2%	[59]	[1.4%]	
東海	21 岐阜県	4	[3]	3	[1]	161	0.9%	[113]	[1.3%]	2	[2]	2	[3]	124	1.5%	[90]	[2.1%]
	22 静岡県	2	[2]	3	[4]	423	2.2%	[162]	[1.8%]	1	[1]	1	[1]	208	2.4%	[84]	[2.0%]
	23 愛知県	18	[18]	15	[15]	1,116	5.9%	[618]	[6.9%]	7	[7]	13	[12]	576	6.8%	[424]	[10.1%]
	24 三重県	1	[0]	1	[1]	157	0.8%	[78]	[0.9%]	2	[2]	1	[1]	89	1.0%	[47]	[1.1%]
ブロック計	25	[23]	22	[21]	1,857	9.9%	[971]	[10.8%]	12	[12]	17	[17]	997	11.7%	[645]	[15.3%]	
近畿	25 滋賀県	3	[1]	1	[1]	79	0.4%	[49]	[0.5%]	2	[1]	1	[1]	65	0.8%	[35]	[0.8%]
	26 京都府	2	[2]	4	[2]	244	1.3%	[139]	[1.5%]	1	[0]	2	[2]	121	1.4%	[62]	[1.5%]
	27 大阪府	46	[44]	28	[22]	2,417	12.8%	[1,277]	[14.2%]	17	[16]	11	[8]	785	9.2%	[550]	[13.0%]
	28 兵庫県	8	[9]	6	[4]	406	2.2%	[309]	[3.4%]	4	[3]	2	[3]	229	2.7%	[139]	[3.3%]
	29 奈良県	0	[0]	1	[1]	108	0.6%	[62]	[0.7%]	0	[0]	0	[0]	73	0.9%	[45]	[1.1%]
	30 和歌山県	0	[0]	5	[3]	66	0.4%	[43]	[0.5%]	0	[0]	0	[0]	50	0.6%	[19]	[0.5%]
ブロック計	59	[56]	45	[33]	3,320	17.6%	[1,879]	[20.8%]	24	[20]	16	[14]	1,323	15.6%	[850]	[20.2%]	
中国・四国	31 鳥取県	0	[0]	0	[0]	15	0.1%	[7]	[0.1%]	0	[0]	0	[0]	17	0.2%	[14]	[0.3%]
	32 島根県	0	[0]	0	[0]	19	0.1%	[10]	[0.1%]	1	[1]	0	[0]	8	0.1%	[3]	[0.1%]
	33 岡山県	2	[2]	2	[1]	141	0.8%	[93]	[1.0%]	1	[1]	1	[1]	76	0.9%	[41]	[1.0%]
	34 広島県	4	[3]	5	[4]	224	1.2%	[125]	[1.4%]	0	[0]	0	[0]	113	1.3%	[88]	[2.1%]
	35 山口県	1	[1]	4	[3]	64	0.3%	[42]	[0.5%]	0	[0]	0	[0]	22	0.3%	[14]	[0.3%]
	36 徳島県	2	[2]	1	[1]	41	0.2%	[33]	[0.4%]	1	[1]	0	[0]	22	0.3%	[14]	[0.3%]
	37 香川県	0	[0]	0	[0]	61	0.3%	[41]	[0.5%]	0	[0]	0	[0]	46	0.5%	[35]	[0.8%]
	38 愛媛県	1	[1]	0	[0]	78	0.4%	[33]	[0.4%]	3	[2]	1	[1]	59	0.7%	[35]	[0.8%]
	39 高知県	1	[1]	2	[2]	40	0.2%	[26]	[0.3%]	1	[2]	0	[0]	28	0.3%	[21]	[0.5%]
	ブロック計	11	[10]	14	[11]	683	3.6%	[410]	[4.5%]	7	[7]	2	[2]	391	4.6%	[265]	[6.3%]
九州・沖縄	40 福岡県	11	[9]	14	[12]	509	2.7%	[339]	[3.8%]	12	[9]	12	[10]	277	3.3%	[206]	[4.9%]
	41 佐賀県	2	[1]	0	[0]	33	0.2%	[33]	[0.4%]	3	[4]	2	[3]	20	0.2%	[20]	[0.5%]
	42 長崎県	0	[0]	0	[1]	49	0.3%	[25]	[0.3%]	1	[1]	0	[0]	34	0.4%	[20]	[0.5%]
	43 熊本県	6	[6]	1	[0]	91	0.5%	[49]	[0.5%]	3	[3]	2	[2]	62	0.7%	[47]	[1.1%]
	44 大分県	0	[0]	1	[1]	54	0.3%	[34]	[0.4%]	1	[1]	1	[1]	29	0.3%	[23]	[0.5%]
	45 宮崎県	0	[0]	2	[2]	52	0.3%	[39]	[0.4%]	1	[1]	1	[1]	41	0.5%	[31]	[0.7%]
	46 鹿児島県	1	[1]	3	[5]	85	0.5%	[56]	[0.6%]	3	[3]	1	[1]	65	0.8%	[35]	[0.8%]
	47 沖縄県	3	[2]	4	[2]	222	1.2%	[139]	[1.5%]	1	[1]	0	[0]	113	1.3%	[61]	[1.4%]
ブロック計	23	[19]	25	[23]	1,095	5.8%	[714]	[7.9%]	25	[23]	19	[18]	641	7.5%	[443]	[10.5%]	
合計		253	[219]	261	[212]	18,851	100%	[9,017]	[100.0%]	110	[102]	113	[103]	8,493	100%	[4,217]	[100.0%]

※〔報告地〕:昭和60年から集計
※〔居住地〕:最近数年間の主な居住地(平成19年4月から記載)

後天性免疫不全症候群発生届出(抜粋)
①最近数年間の主な居住地
1)日本国内(都道府県)
2)その他(
3)不明